

一関市国際交流協会

News Letter

Vol.22

日越教育交流事業が無事終了！



10月17日から25日にかけて、ベトナム・ホーチミン貿易大学の学生5名と引率者1名が一関市に滞在しました。

一行は市内のホストファミリーのもとでホームステイをし、日本の生活を身近に体験しました。ホストとの日常生活を通して、日本の文化や習慣を学ぶ貴重な機会となりました。

滞在期間中には、市長への表敬訪問をはじめ、市内の学校を訪問して学生や生徒たちとの交流を深めました。また、地元企業の訪問や、観光・伝統文化体験なども行い、一関の自然や人の温かさ、地域の魅力を存分に感じ取っていました。

最終日には、ベトナムの学生たちによる「ベトナム文化紹介」が行われ、多くの学生や市民の皆さんが参加しました。会場は活気にあふれ、笑顔が絶えない文化交流のひとつとなりました。文化紹介の後には互いに自由に交流し、別れを惜しむ姿が印象的でした。

このプログラムに参加した学生たちからは、「日本に来る前と、実際に滞在してみても印象が大きく変わった。人の温かさやおいしい食事、風土に感動した」「第二のふるさととして、また一関を訪れたい」といった感想が寄せられました。

今回の事業を通じて、言葉や文化の違いを越えた心の交流が生まれました。ご協力くださったホストファミリーの皆さまをはじめ、受け入れや交流にご尽力いただいた関係者の皆さまに、心より感謝申し上げます。

一関市中学生海外派遣事業 帰国報告＆多文化共生事業



オーストラリア・セントラルハイランズ市へ派遣された中学生たちが、8月12日に佐藤市長へ帰国報告を行いました。生徒たちは学校生活やホームステイ、現地の人々との交流を通して得た気づきや成長を一人ひとりの言葉で伝え、文化の違いを実際に体験したことが自身の夢や目標を見つめ直す貴重な機会になったと振り返りました。市長からは「若いうちの海外経験は大きな財産」と励ましの言葉が贈られました。

さらに10月11日には、なのはなプラザで多文化共生事業「“海外で生活する”って？」を開催。派遣中学生による体験発表に加え、市内在住の外国人や海外生活経験のある日本人の講話を通して、「海外で暮らすこと」「文化の違いを受け入れること」について考える時間となりました。言葉の壁を乗り越

えて気持ちに通じた喜び、価値観の違いに触れた驚きなど、リアルな体験談に参加者もうなずきながら耳を傾け、会場は温かな雰囲気にも包まれました。

今回の一連の取り組みを通して、中学生たちが国際感覚を育み、地域全体で多文化共生の大切さを共有する機会となりました。ご参加・ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。



多国籍チームの熱戦が広がった、国際交流ソフトバレーボール大会

11月1日（土）、サン・アビリティーズ一関にて「国際交流スポーツ大会 ～ソフトバレーボール大会～」を開催しました。7カ国、約30名の参加者が集まり、多くの応援の方々にもご来場いただきました。

まずは選手代表による元気な選手宣誓からスタート！続いて、日本でおなじみのラジオ体操で体をほぐしたあと、いよいよ試合開始です。

今回も、各国の参加者がランダムに混ざるチーム編成で、リーグ戦形式で行いました。肌寒かった体育館も、プレーが始まるとすぐに熱気に包まれ、国や言葉の違いを越えて、声を掛け合いながら協力する姿がたくさん見られました。大会は終始笑顔と歓声にあふれ、表彰式のあとも参加者同士で写真を撮り合うなど、和やかな雰囲気の中で楽しいひとときを過ごしました。参加者からは、「いろんな国の人と一緒にプレーできて楽しかった！」「初めてのソフトバレーボールだったけど、とても楽しかった。また参加したい」など、嬉しい感想がたくさん寄せられました。



心が弾むステージに会場も一体！「世界を知ろう！」ゴスペル×ラテンコンサート

（ボランティアとして参加した高校生が記事を書いてくれました。この素晴らしい経験を共有してくれた高校生ボランティアに感謝するとともに、ご参加くださいました皆さま、ボランティアとして運営にご協力くださいました多くの学生の方々を始め、他多くの関係者の方々に厚く御礼を申し上げます。）



11/30（日）、一関文化センター中ホールにてコンサートを開催しました。昨年に続き多くの方にご来場いただき、全国で歌声を届けている“One Love Nation”の皆様と一緒に歌って踊り、心の輪を広げる時間となりました。

今年はゴスペルに加えてラテン音楽も取り入れ、映画やテレビCMで耳にする曲も多く、会場からは「あ、この曲聞いたことがある！」という声が聞こえるほど親しみやすい内容でした。迫力のボーカルハーモニーや軽快なタップダンス、会場全体で音楽を作り上げる参加型の演出など、普段体験できない魅力が詰まった公演となりました。また、ブラックミュージックをテーマにしたトークショーでは、歴史的背景や差別を乗り越えて音楽を守り伝えてきた人々の思いに触れ、音楽が国境を越えて広がっていく深い意味を知る貴重な時間となりました。



高校生ボランティアとして運営に携わった私にとっても、仲間と協力しながら活動する中で多くの学びがあり、出演者の方々が関わる全ての人へ感謝を伝える姿勢に心を打たれました。

音楽を通して皆様との心の輪がさらに広がることを願っています。ご出演いただいた“One Love Nation”の皆様、ご来場いただいた皆様、誠にありがとうございました。

その他、イベント開催の様子を紹介します

多文化防災セミナー in 千厩

8月9日(土)

一関東消防署の職員を講師に迎え、地震や大雨などの災害への備えについて学び、外国人支援の視点も交えながら地域でできる防災を考えました。初期消火訓練や非常食の紹介、防災マップを使った避難所・危険箇所の確認を通して、事前に避難経路を把握する重要性を再認識しました。また、非常持ち出し袋や防災グッズについて参加者同士で情報交換し、実践的な知恵を共有する時間となりました。防災は継続が大切であり、今後は在住外国人の皆さんにも気軽に参加していただき、地域と共に「もしも」に備えていきたいと感じました。



日本語ボランティア養成講座

8月24日(土) ~
9月13日(土)

いわて地域日本語教育コーディネーター・藤波大吾氏を講師に迎え、日本語学習支援の方法やボランティアの役割、心構えについて学び、世代を超えた交流の場となりました。最終日には日本語教室に参加し、学習者と会話を楽しんだ後、受講生同士が体験を共有。

活動中のボランティアから助言を受ける場面もあり、実践につながる学びが深まりました。受講生からは「話題に詰まったときの対処法が分かった」「文法の質問に答える難しさを実感した」「初参加だが今後も活動したい」などの声があり、新たな気づきや意欲につながる有意義な時間となりました。



韓国の魅力で交流広がる いちのせき市民フェスタ

8月31日(日)

当協会は「韓国」をテーマにブースを出展。ポジャギアート体験（韓国風呂敷ラッピング）、韓国語ミニレッスン＆観光案内、済州みかんジュースの試飲販売などを行いました。韓国出身の鈴木菜生実さんと、韓国料理教室 Travel Meet Kitchen 主宰の梅原智子さんにもご協力いただき、来場者へ韓国文化の魅力をたっぷり紹介していただきました。訪れた方々はカラフルな布でのラッピングに挑戦したり、韓国語であいさつを練習したりと、思い思いに体験を楽しむ姿が見られました。また、韓国の伝統的なエプロンを試着して写真を撮るなど、笑顔あふれる時間となりました。来場者同士の交流も生まれ、新たなつながりが広がる場となりました。



ベトナムをもっと身近に！楽しく学ぶベトナム語講座

9月20日(土) ~
全6回

ベトナム出身のクック・ティ・ノンさんを講師に迎え、語彙や文法、発話練習を通して日常会話の基礎を学びました。受講者は積極的に質問したりメモを取ったりと意欲的に取り組みました。

最終日には修了書が手渡され、受講者がベトナム語で感謝を伝える温かい時間となりました。さらに、ホーチミン市の大学生による文化紹介イベントでは、受講者が学んだベトナム語で歓迎のあいさつを披露し、学習の成果を実感できる場となりました。今後も学びを生かし、多文化交流が広がっていくことを期待しています。



布がつむぐ韓国の美—ポジャギアートを体験！

10月29日(水)

室根市民センターにて、Travel Meet Kitchen 主宰・梅原智子さんを講師に迎え、開催しました。韓国旅行を疑似体験するような流れで、参加者は搭乗券を手し“出発”し、電子マネー「WOWPASS」で買い物体験を楽しんだ後、購入したポジャギでお土産をラッピングしました。真剣に手を動かし、同じ包み方でも個性ある仕上がりが見られました。何度でも使えるエコなラッピング文化としてのポジャギについても学びました。最後は“韓国カフェ”で講師手作りのお菓子や韓方茶を味わい、韓国の食文化や現代の暮らしに触れるひとときとなりました。アットホームで温かい交流の時間となりました。



誰にでも伝わる日本語を！「やさしい日本語研修会」

11月15日(土)

講師には日本語教師の畠山祐光さんをお迎えし、学生から社会人まで、幅広い年代の皆さんが参加してくださいました。研修会では、「やさしい日本語」の基本のルールや必要性を学びました。

また、教わったルールに基づき、グループでクイズ形式のトレーニングに挑戦。

笑い声があふれる、活気のある時間となりました。参加者からは、「とても分かりやすかった」「外国人だけでなく、お年寄りとの会話にも役立つと感じた」などの感想をいただきました。多文化共生に一步近づくヒントが詰まった、充実の研修会となりました。



NPO 法人 一関市国際交流協会

岩手県一関市大町 4-29 なんのはなプラザ 4F
TEL : 0191-34-4711 FAX : 0191-34-4712
E-mail : i-intl@snow.ocn.ne.jp
URL : <https://www.ichinoseki-ia.jp>
●開所時間 9 : 00am ~ 6 : 00pm
●定休日 毎週日曜日・祝日・12/29~1/3



一関市国際交流協会
Facebook



ホームページ



Instagram